

平成20年度 決算報告書

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,307,342,000	1,310,504,000	3,162,000	
自己収入	542,243,000	551,597,281	9,354,281	
授業料等収入	510,197,000	519,890,000	9,693,000	(注1)
雑収入	32,046,000	31,707,281	338,719	
受託研究等収入	64,719,000	96,116,336	31,397,336	(注2)
計	1,914,304,000	1,958,217,617	43,913,617	
支出				
業務費	1,524,971,000	1,447,207,457	77,763,543	
教育研究経費	323,434,000	267,320,155	56,113,845	(注3)
人件費	1,201,537,000	1,179,887,302	21,649,698	(注4)
一般管理費	324,614,000	316,948,510	7,665,490	(注5)
受託研究等経費	64,719,000	84,408,867	19,689,867	(注6)
計	1,914,304,000	1,848,564,834	65,739,166	

予算と決算の差異について

- (注1) 授業料等収入の差額の主な原因は、授業料収益(認定看護管理者教育課程)2,880千円、授業料収益(認定看護師教育課程)6,960千円及び検定料収益(認定看護師教育課程)1,080千円に係る受託研究等収入から授業料等収入への振替10,920千円及び休学・退職等に伴う減 1,227千円であります。
- (注2) 受託研究等収入の差額の主な原因は、戦略的大学連携支援事業に係る国庫補助金収益34,695千円及び学生参画型人材育成教育推進事業に係る国庫補助金収益 3,328千円並びに戦略的大学連携支援事業に係る預り補助金3,805千円及び学生参画型人材育成教育推進事業に係る預り補助金3,328千円、認定看護等に係る受講料収入及び受講検定料収入11,160千円、その他受託研究等収入4,045千円であります。
- (注3) 教育研究経費の差額の主な原因は、理事長裁量特別研究費 24,749千円、健康科学特別研究費 20,785千円及び学部学生教育経費 9,933千円、個人研究費 8,100千円、院生研究費 6,306千円、学生確保経費 4,545千円、大学院生教育経費 3,583千円、学生指導経費 2,613千円、海外研究旅費 1,643千円、非常勤講師人件費15,389千円、認定看護等に係る研修事業費8,107千円であります。
- (注4) 人件費の差額の原因は、教員人件費 28,450千円、職員人件費8,569千円及び役員人件費 1,769千円であります。なお、教員人件費が減じた理由は非常勤講師人件費に係る人件費から教育研究経費への振替 16,075千円、教員給料7,243千円、教員各種手当 6,711千円、教員法定福利費 1,485千円及び教員退職手当3,064千円であります。
- (注5) 一般管理費の差額の主な原因は、大学校舎等水道光熱費 24,771千円及び大学校舎等修繕費15,161千円であります。平成20年度は光熱水費の節減を図るため、外灯照明等の節減、冷房運転期間の短縮、給湯制限、融雪施設の停止及び年末年始休暇期間の大学施設閉鎖等を実施しました。また修繕内容の主なものとしてはC棟男女ロッカー室軒天井張替改修工事7,350千円、監視カメラ装置改修工事4,095千円等があります。
- (注6) 受託研究等経費の差額の主な原因は、戦略的大学連携支援事業に係る補助金事業費34,695千円、科学研究費補助金事業間接経費6,393千円、奨学寄附金事業費 5,369千円、受託事業費 4,519千円、学生参画型人材育成教育推進事業に係る補助金事業費 3,328千円、受託研究費2,765千円、認定看護等に係る研修事業費 11,160千円であります。なお、奨学寄附金事業及び受託事業については残金を次期に繰り越し、補助金事業については節減の結果生じた残金を返還します。

平成20年度 決算報告書（参考）

（単位：円）

区 分	予 算 額		決算額	差 額 (決算額-科目調整後の予算額)	備 考
	予算額	科目調整後の予算額			
収入					
運営費交付金	1,307,342,000	1,307,342,000	1,310,504,000	3,162,000	
自己収入	542,243,000	553,403,000	551,597,281	1,805,719	
授業料等収入	510,197,000	521,357,000	519,890,000	1,467,000	(注1)
雑収入	32,046,000	32,046,000	31,707,281	338,719	
受託研究等収入	64,719,000	53,559,000	96,116,336	42,557,336	(注2)
計	1,914,304,000	1,914,304,000	1,958,217,617	43,913,617	
支出					
業務費	1,524,971,000	1,536,131,000	1,447,207,457	88,923,543	
教育研究経費	323,434,000	350,669,000	267,320,155	83,348,845	(注3)
人件費	1,201,537,000	1,185,462,000	1,179,887,302	5,574,698	(注4)
一般管理費	324,614,000	324,614,000	316,948,510	7,665,490	(注5)
受託研究等経費	64,719,000	53,559,000	84,408,867	30,849,867	(注6)
計	1,914,304,000	1,914,304,000	1,848,564,834	65,739,166	

予算と決算の差異について

(注1) 授業料等収入の差額の主な原因は、休学・退職等に伴う減 1,227千円であります。

(注2) 受託研究等収入の差額の主な原因は、戦略的大学連携支援事業に係る国庫補助金収益34,695千円及び学生参画型人材育成教育推進事業に係る国庫補助金収益 3,328千円並びに戦略的大学連携支援事業に係る預り補助金3,805千円及び学生参画型人材育成教育推進事業に係る預り補助金3,328千円、その他受託研究等収入4,045千円であります。

(注3) 教育研究経費の差額の主な原因は、理事長裁量特別研究費 24,749千円、健康科学特別研究費 20,785千円、学部学生教育経費 9,933千円、個人研究費 8,100千円、院生研究費 6,306千円、学生確保経費 4,545千円、大学院生教育経費 3,583千円、学生指導経費 2,613千円、海外研究旅費 1,643千円、非常勤講師人件費 686千円であります。

(注4) 人件費の差額の原因は、教員人件費 12,375千円、職員人件費8,569千円及び役員人件費 1,769千円であります。

なお、教員人件費が減じた理由は教員給料 7,243千円、教員各種手当 6,711千円、教員法定福利費 1,485千円及び教員退職手当 3,064千円であります。

(注5) 一般管理費の差額の主な原因は、大学校舎等水道光熱費 24,771千円及び大学校舎等修繕費15,161千円であります。

平成20年度は光熱水費の節減を図るため、外灯照明等の節減、冷房運転期間の短縮、給湯制限、融雪施設の停止及び年末年始休暇期間の大学施設閉鎖等を実施しました。また修繕内容の主なものとしてはC棟男女ロッカー室軒天井張替改修工事7,350千円、監視カメラ装置改修工事4,095千円等があります。

(注6) 受託研究等経費の差額の主な原因は、戦略的大学連携支援事業に係る補助金事業費34,695千円、科学研究費補助金事業間接経費 6,393千円、奨学寄附金事業費 5,369千円、受託事業費 4,519千円、学生参画型人材育成教育推進事業に係る補助金事業費 3,328千円、受託研究費2,765千円であります。

なお、奨学寄附金事業及び受託事業については残金を次期に繰り越し、補助金事業については節減の結果生じた残金を返還します。